

## 一般質問

議員 7 人

## 町政と問う

3月定例会の一般質問は8日および9日に行われました。  
紙面の都合により要約してお伝えします。  
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある会議録で確認できます。  
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。吉岡町では、質問および答弁をあわせて、1人60分の持ち時間があります。

## ■高山 武尚議員（16ページ）

1. 災害拠点庁舎の非常用電源について
2. 部活動の指導者について
3. ウッドチッパーの購入・設置について
4. 駒寄第三学童クラブの開所について
5. 認知症カフェについて
6. 社会体育館トレーニング室について

## ■柴崎 徳一郎議員（17ページ）

1. A L T（外国語指導助手）の有効活用施策を
2. マイナンバー制度の運用現状は
3. 学校における障がい児の差別解消に向けて
4. 地域課題について

## ■村越 哲夫議員（18ページ）

1. 健康の推進について
2. D V相談について
3. 都市計画道路の早期整備について
4. 運転免許証の返納について
5. 吉岡町の今後について

## ■五十嵐 善一議員（19ページ）

1. 地域防災・減災対策について
2. 学校教育について

## ■岩崎 信幸議員（20ページ）

1. 空き家対策について
2. 地域産業の振興について
3. 自治体間交流について

## ■馬場 周二議員（21ページ）

1. 上野原地域の南北を結ぶ道路開発について
2. 船尾瀧周辺整備について
3. 公共交通について
4. 町道の老朽化について
5. 公共施設の対応について

## ■小池 春雄議員（22ページ）

1. スラグの撤去
2. 子宮頸がんワクチン障害者への救済策
3. オスプレイ飛行について

インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。

アクセス方法は

吉岡町議会

検索



高山武尚 議員

## 中学校の部活動に外部指導者を活用

答

ス。ボーツ。エキス。パート事業を活用

問 災害時、対策拠点となる役場庁舎の非常用電源設置予定は。

答 町長 今年度設置。連続稼働72時間、

100ワットの電気製品が200台使用可能。

問 教師の負担軽減・生徒の技術力向上に、外部指導者を中

校の部活動に活用を。

答 教育委員会事務局長 「スポーツエキ

スパート事業」として、外部指導者の活用をして

ている。サッカー、卓

球、剣道、柔道、バレーボール、文芸部、合唱部に計9人を導入し、成績を残している。

問 庭木のゴミ処理に対し、グリーンリ

サイクルのためウッドチッパーの購入を。

答 町長 庭木を剪定

したものなどを肥料に使用できれば、ゴ

ミの減量化につながる

と思う。しかし、機械の安全利用や費用対効

果を考えると、現段階では導入を考えていな

問 新たに開所する第3学童クラブの駐車場は。

答 健康福祉課長 学童クラブ西側敷地

の駒小教職員駐車場を

使用し、教職員は駒小北に購入した土地を使

用する。

差点では見守り指導隊を配置し、そこまで学童クラブの指導員が迎えにいく形で安全確保を予定。

問 昨年開所した認知症カフェ「元気になれるカフェ」、利用者の反応は。

答 健康福祉課長 「1人では来づらいが、みんなで行こうとなれば来やすい」、「知らない人とも話ができる楽しい」「日中1人でいるより、ここに来た方が楽しい」などの声が多數聞かれる。

問 「認知症カフェ」のメリットは。

答 健康福祉課長 子どもが来てくれる

ことで、笑顔で会話を楽しんでいる。介護サービスを利用しなくても、外出の機会が増え、介護予防に繋がる。

介護者が参加の場合、不安や相談を職員が対応することにより、介護負担の軽減になる。



見守り隊などに守られて横断している子どもたち



柴崎徳一郎 議員

# 東の玄関口のおもてなし策は

答 差別化と仕掛けづくりを地道に



バイパス法面などで環境美化活動する周辺住民ら（漆原東地域内）

答 町長 立地条件を生かした差別化と各種の仕掛けづくりを地道に進めていく。

答 A.L.T.（外国語指導助手）の職務概要・月額報酬は。

答 教育委員会事務局 A.L.T.の活動推奨は。

答 教育委員会事務局 A.L.T.の地域交流活動推奨は。

答 総務政策課長 J.E.T.プログラムの用規則を準用。

ミニ解説

J.E.T.プログラム  
外国人青年を招致して地方自治体などで任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業。

問 上武国道連結に関する東の玄関口としてのおもてなし対策は。

答 町長 立地条件を生かした差別化と各種の仕掛けづくりを地道に進めていく。

答 産業建設課長 関係機関への働きかげと都市計画道路の見直しを新年度に検討したい。

答 教育委員会事務局 長 児童生徒にと

答 総務政策課長 全職員を対象に研修実施ほか、今後も研修は継続していく。

答 総務政策課長 住民の利便性向上で最大のメリットは、窓口での「添付書類の簡素化」。

答 教育委員会事務局 長 保護者の不安など、期待に添えるよう努力する。

問 「マイナポータル」とは。

答 総務政策課長 窓口で住民らが利用

問 「マイナポータル」とは。

答 総務政策課長 窓

問 「マイナポータル」とは。  
あるほか、諸証明発行など利活用が見込まれている。

問 「マイナポータル」とは。  
お知らせなどネット上の情報連携の記録や確認、WEBサービスを見るこ

とができる。

問 「マイナポータル」とは。  
者となつて、自己情報の

情報連携の記録や確認、WEBサービスを見ることができる。

問 「マイナポータル」とは。  
発達障がい児を持たれる家族への合理的配慮は。

問 「マイナポータル」とは。  
保護者の不安など、期待に添えるよう努力する。

問 「マイナポータル」とは。  
添付書類の簡素化。

問 「マイナポータル」とは。

問 「



村越哲夫 議員

# 健康NO.1プロジェクトの成果は

## 生活習慣病予防は効果があつた

問 健康NO.1プロジェクトの進捗状況と成果は。

答 町長 平成23年より、第5次総合計画に健康をテーマにより、上武国道の開通に伴い、しおか「健康ナンバー1」をシンボルプロジェクトに盛り込んだ。誰もが健康で毎日を送ることを願い、今後も、有酸素運動の普及や体育活動を推進し、生活習慣の見直しを進める。また、生活習慣病は効果があつた。

問 都市計画道路の整備計画の進捗概要是。

答 町長 渋川市との地域連携協定において、吉岡バイパスの開通後流入する車両の

延伸と八木原駅周辺整備を、昨年5月に渋川市長と共に、県宛てに要望書を提出。また、上武国道の開通に伴い、漆原周辺の交通量が増し、整備がいつそう必要となるので、県へ要

望していく。

問 漆原・南原線の延伸と県道昇格は。

答 総務政策課長 群馬県の考え方次第であり、見通しは立てていらない。

## 川久保踏切の平面拡幅は

答弁が出来る状況ではない

問 サントリー西の川久保踏切の平面拡幅は。

答 総務政策課長 J受入れ対応など考えた場合、現状では何とも答弁が出来る状況ではない。

問 整備された町道上野田下野田線の交

答 町長 渋川市との協議、事業費の積算費用負担や都市計画決定の見直し、

開通後流入する車両の延伸と八木原駅周辺整備を、昨年5月に渋川市長と共に、県宛てに要望書を提出。また、上武国道の開通に伴い、漆原周辺の交通量が増し、整備がいつそう必要となるので、県へ要

望していく。

問 産業建設課長 渋川土木事務所や県警、小学校の代表、PTAの代表、まちの交

通安全担当などが参加し、児童生徒などの事故防止・安全対策を目的とした「通学路交通

安全プログラム」などで検討したい。

問 運転免許証の自主返納の対策は。

答 町民生活課長 平成23年の事業開始から29年1月末現在65人が申請。また、協会

加入事業者のタクシーリ用の際に運転経歴証明書の提示により1割の運賃割引を実施。

問 小中学校の教室確保の見込みは。

答 教育委員会事務局長 平成29年も上昇傾向にあり、2小学校について増築済。

ここ数年は教室不足はないと思われる。なお、中学校においては生徒数を把握し、教室不足が生じないよう対応したい。



サロンで軽スポーツを楽しむ  
(下野田いきいきサロン「この指とまれ」)



五十嵐善一 議員

## 町道小倉陣場線を無電柱化に 関係機関と調整・協議したい



緊急・輸送道路に林立する電柱（町道小倉陣場線）

答 上下水道課長 平成26年3月に「公共下水道事業・業務統計画」の暫定版を作成。現在、県の指導を受けながら、この暫定版の見直しに取り組み、平成29年3月末に改訂の予定。

問 「校務支援員」の配置は、多忙教員の負担軽減策になるとと思つが。

答 教育長 まち独自で学級支援員を配置し、直接生徒と関わる業務を支援している。今後は印刷物などの処

### 災害時受援・応援計画

災害発生後は、応援要請やさまざまな応援の申し出がある。この申し出の受付や受入れ調整、応援需要に対する調整など、受援・応援に係る調整や管理などが円滑に行えるよう計画するもの。

### 校務支援員

書類管理などの事務作業を担う。教員の事務負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保する狙い。

ミニ解説

問 大災害発生時の受援計画策定への、町長の考えは。

答 町長 県は眞支援・応援計画や、市町村向けガイドラインの平成29年度作成を目指してい。まちは、このガイドラインを参考に検討

し、対応していく。  
問 災害時緊急輸送道路に指定されている吉岡バイパスや、町道小倉陣場線に、無電柱化対策を実施すべきでは。

答 産業建設課長 今後幹線交通ネットに広まりつつある。国交省は、平成29年3月末までに、全自治体で完成することを目指している。まちの策定状況は。

トワークの整備状況や、緊急輸送道路の車両交通量の実態を確認し、関係機関と調整・協議をしていきたい。

問 下水道版業務継続計画策定が全国的に広まりつつある。国交省は、平成29年3月末までに、全自治体で完成することを目指している。まちの策定状況は。

イドラインを参考に、伊ドラインを参考に、  
理支援員配置を検討したい。

問 まち指定の避難所になる、小中学校避難所運営について検討したい。

問 まちの小中学校教員の、長時間勤務の実態は。

問 教育長 平均の退院時刻は、19時から19時30分。過度の負担にならないように引き続き配慮していきたい。

問 まちの小中学校教員の、長時間勤務の実態は。

問 教育長 平均の退院時刻は、19時から19時30分。過度の負担にならないように引き続き配慮していきたい。

### 校務支援員の配置を

### 印刷物などの処理支援員を検討

### 災害時受援・応援計画

災害発生後は、応援要請やさまざまな応援の申し出がある。この申し出の受付や受入れ調整、応援需要に対する調整など、受援・応援に係る調整や管理などが円滑に行えるよう計画するもの。

### 校務支援員

書類管理などの事務作業を担う。教員の事務負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保する狙い。